

綾栄会 16 ニュース

平成29年12月1日発行

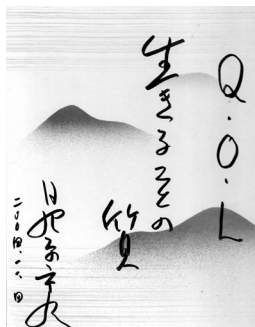
第50号

学校法人 香川栄養学園 募金担当
〒170-8481 東京都豊島区駒込3-24-3
tel.03-3918-3701

- 坂戸キャンパス
女子栄養大学大学院
女子栄養大学（栄養学部）
- 駒込キャンパス
女子栄養大学（栄養学部二部）
女子栄養大学短期大学部
香川調理製菓専門学校

日野原先生へ 感謝を込めて

女子栄養大学 副学長 香川靖雄



本学綾栄会発足時から顧問を続け
て下さった、国民的な健康の指導者、
日野原重明先生は百五歳の健康長寿を
全うされて、2017年7月18日に昇
天されました。私が東大医学部を卒業
した昭和32年に米軍が聖路加国際病
院を返還してくれたので米国留学を志
していた私は同病院に住込みで内科医
長の日野原先生に日夜、手を取って臨
床を教えて頂きました。遅くまで悩み

を持つ患者さんへの暖かい思いやりで
励ましておられました。先生は重い肺
結核で1年間も休学された体験で患
者さんの気持ちが判るとの事でした。
医師は発病後に治療するのですが、予
防のための「人間ドック」を新設され
ました。それまでは「成人病」と呼ば
れて中高年になれば発病は当たり前と
されてきた糖尿病、動脈硬化等は、悪
い生活習慣が原因として「生活習慣病」

に用語を変えられたのです。そして、
健康寿命を実現され、写真の百二歳の
時の髪は当時八二歳の私と同じくらい
黒いのです。先生は生活習慣病、栄養
学、看護学の拙著に暖かい序文を書い
て下さいました。先生の理念は本学の
理念と同じですから香川綾初代学長と
協力しました。綾と先生の対談(月刊
「栄養と料理」1990年1月号)では
「心を健やかにすることこそ、人生の
最終目的です」とあります。熱心な基
督者として香川芳子学園長の属する滝
野川教会では毎年講演して下さいまし
た。香川綾の追悼文集(月刊「栄養と
料理」1997年8月号付録)の筆頭
者として「香川綾先生の笑顔には健や
かな平和の輝きが感ぜられる」と惜し
まれました。先生と私の対談は最新医
学(6(4) p.118-131(2005))
にあり、「私の現実の生活は理想的な
健康の生活とは違っています。しかし、
そのような環境に適応し、衝撃を和ら
げることが健康の一番のエッセンス」
と云われました。満百歳の記念に先生
に直接校正していただいたご自身の健
康法は月刊「栄養と料理」2012年
1月号に記載されています。先生は介
護や延命医療で皆の負担になる長寿は
避け、私に下さった色紙にあるように、
人間らしい生活の質(QOL)を生涯
保たれたのです。綾栄会の顧問で友人
の名指揮者岩城宏之氏の末期癌では主
治医として「貴方は指揮が命だから入

院せずに鎮痛だけで指揮を続けなさ
い」と2年間も有意義な生涯を全うさ
せたのです。先生の毎週土曜日朝日
新聞のエッセイは御葬儀の日の皆様へ
のお別れの挨拶まで続いたのです。先
生に学んでQOLを保ち人々に奉仕す
れば、少子高齢化社会の未来も明るく
なるでしょう。

日野原重明先生は、本学創立者で
ある香川綾、現学園長である香川芳
子と過去にそれぞれ対談されており、
月刊「栄養と料理」(女子栄養大学出
版部発行)に掲載されておりました
ので、ここに紹介いたします。

月刊「栄養と料理」(1990年1月号)
『本学創立者香川綾との新春対談』



※女子栄養大学図書館作成
「栄養と料理」デジタルアーカイブス」より
月刊「栄養と料理」(2003年1月号)
『香川芳子学園長との新春対談』



「新老人」が子どもといっしょに
未来をつくっていくのてす

追悼

綾栄会顧問でありました日野原重明先生（聖路加国際病院院長、聖路加国際大学名誉学長、学校法人聖路加国際大学名誉管理理事長）が2017年7月18日に逝去されました（享年105歳）。葬儀は、7月29日（土）13時より、東京都港区の青山葬儀所で営まれました。



綾栄会発足時から顧問を続けてくださった日野原重明先生、ここに謹んでご報告申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。

レストラン「松柏軒」開設50周年

地域に開かれた駒込キャンパス内にある本学園レストラン「松柏軒」が開設50周年を迎えました。専門学校付属施設として営業調理・サービスの実習の場であり、学園の全学生・生徒がテーブルマナーや懐石の作法を学ぶ場であり、予約制の営業レストランでもあります。

近年は、北区や豊島区の高齢者向け「お食事会」に協力したり、オリジナル企画の「ワインセミナー」を開催するなど活動の場を広げています。

松柏軒では、今回の開設50周年を記念したワインを販売（数量限定、来年3月末まで）する他、記念食事を2018年3月2日（金）18時30分開催します。また、記念誌（パンフレット）も作成予定です。

【松柏軒 お問い合わせ先】
03（3918）2543



学園トピックス

全国きな粉工業会と産学連携包括協力に関する協定を締結

4月13日（木）東京ベイ有明ワシントンホテルにおいて、全国きな粉工業会と「産学連携包括協力に関する協定」の締結式を行いました。全国きな粉工業会は、「きな粉」を取り扱う全国の食品会社、約30社が加盟している団体で、今回日本の伝統食品である「きな粉」の消費拡大を目的に協定を締結しました。

また全国きな粉工業会は、同日東京ビッグサイトにて開催された惣菜デリカ・弁当・中食等の業務用専門展である「ファベックス2017」にブースを出展し、今回の締結に向けて作成した「きな粉」を使ったレシピ（澤坂明美生涯学習講師が監修）を掲載したチラシ「毎日1杯のきな粉生活」等を配布しました。

今後は、本学の三浦理代名誉教授を中心に、大豆が原料である「きな粉」の新たな可能性の提示を含めメニューの共同開発等、連携して進めていく予定です。



全国健康保険協会埼玉支部と包括的連携に関する協定を締結

4月26日（水）坂戸キャンパスにおいて、全国健康保険協会埼玉支部と埼玉県民の健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定締結式を行いました。

125万人を超える加入者をもつ同支部としては、大学との連携協定の締結は初めてのことで、「栄養学に基づいた食に関する知識を協会けんぽの健康経営・健康づくりの推進の取組みに取り入れることを目的としています。本学出版部と連携して、健診の検査項目でわかる疾病リ

スク（血圧、脂質、血糖値、尿酸値、貧血等）に応じた「健康メニューレシピカード」を制作しました。本カードは、加入者の食事改善に生かすとともに、疾病リスクの改善指導に役立て、協会けんぽの加入者の健康増進と健康寿命の延伸を図ることに活用していきます。

今後、加入者の皆さま、県民の皆さまの健康の維持・改善につながる取組を進めていきます。



埼玉県ふじみ野市と包括的連携に関する協定を締結

4月27日（木）ふじみ野市役所において、埼玉県ふじみ野市と包括的連携に関する協定を締結しました。

今回の締結は、「元氣・健康都市宣言」を掲げ、「家庭や地域、行政が相互に協力しあいながら自身の状況にあった健康づくりを進める」とし、様々な取組みを進めている同市民の健康増進を図ることを目的としています。今後、相互に連携・協力し、健康増進に関する取組を進めていきます。



埼玉県立深谷第一高等学校と高大連携教育協定を締結

7月19日（水）埼玉県立深谷第一高等学校（埼玉県深谷市）と高大連携教育協定を締結しました。

同校は、本年創立110周年を迎える歴史ある高校で、部活動が盛んな学校として知られています。また、「未来を創る人を育てる深・学力向上プラン」を推進しており、本年度は県の「サイエンスアカデミー事業」に指定されるなど、生徒の学びの環境を整えており、「人生を設計する」というキャリア教育の視点に立った進路指導を進

めています。今回の締結は、部活動における食生活を見直した体力作り、生徒の資質向上を目的とし、今後、取組を進めていきます。

東京都武蔵村山市と連携・協力に関する包括協定を締結

8月16日（水）坂戸キャンパスにおいて、武蔵村山市と連携・協力に関する包括協定を締結しました。

東京都多摩地域との連携は、初めてとなりますが、今後、「食と健康、福祉に関すること」「子育て及び教育に関すること」「文化、スポーツ及び生涯学習に関すること」「農工商業、観光及び環境に関すること」「人材育成及び学術振興に関すること」その他の目的を達成するために必要な事項について、両者により取組を進めていくこととなります。



長野県松本美須々ヶ丘高等学校と高大連携教育協定を締結

8月21日（月）長野県松本美須々ヶ丘高等学校（長野県松本市）と高大連携教育協定を締結しました。同校は、創立108年という県内の伝統校で、部活動、生徒会活動が盛んであり、「美須々ヶ丘のこころ」や生徒会により制定された「美須々ヶ丘憲法」といった精神に基づく、特色ある教育活動を進めています。

今回の締結は、食生活を見直した活動の推進、進路全般に関する意識の高揚などを目的としています。長野県内の高等学校との締結は2校目であり、高大連携では、国公私立あわせ43校目となります。



香川芳子学園長の叙勲受章について

本年春の叙勲で、香川芳子学園長は、瑞宝中綬章の榮に浴しました。

勲章伝達式は、5月12日(金)に国立劇場にて行われました。文部科学大臣はじめ関係各位の皆さまにご祝辞をいただき、勲章が手渡されました。



7月29日(土)には東京ドームホテルにて、学園内外11名の発起人による「香川芳子先生の叙勲を祝う会」が開催されました。

香川芳子学園長が「第50回食品産業功労賞 特別賞」を受賞

香川芳子学園長が「第50回食品産業功労賞 顕彰50回記念・特別賞(日本食糧新聞社制定・農林水産省後援)」を受賞されました。

この賞は、「食品産業界の発展と隆盛に大きく貢献し偉大な功績を残してきた功労者の顕彰を目的」としており、50回を記念しての「特別賞」は、香川芳子学園長の「現代栄養学、食健康、食文化研究普及貢献」「教育研究・実践、栄養保健人材育成貢献」「大学運営通じ管理栄養士等知識普及及活動貢献」に対し、贈られたものです。

贈呈式は、11月10日(金)、明治記念館にて行われました。



綾栄会事務局よりの報告

「平成29年度DNP奨学金」授与式を開催

7月1日(土)に「平成29年度DNP奨学金」授与式が奨学生10名参加のもと、坂戸キャンパスにて開催されました(奨学生:大学8名、短期大学部2名)。

この奨学金制度は、株式会社DNPファシリテイサービストとの連携協力に基づき設立されたもので、栄養学部・短期大学の最終学年に在籍する成績優秀者10名に奨学金(10万円)として給付されるものです。

今年で5回目の開催となる授与式には、同社の柳代表取締役社長にご列席いただき、奨学生一人ひとりに対して、柳代表取締役社長と香川明夫学長よりそれぞれ奨学金と奨学証書が授与されました。授与式後の会食・歓談では、奨学生より感謝の意が述べられました。



「平成29年度野口医学研究所奨学金」授与式を開催

10月10日(火)に「平成29年度野口医学研究所奨学金」授与式が奨学生11名参加(諸事情により2名欠席)のもと、駒込キャンパス松柏軒にて開催されました(奨学生:大学9名、短期大学部2名、専門学校2名)。

本奨学金は、修学意欲がありながら経済的な支援を必要とする、栄養学部・栄養学部二部・短期大学部・専門学校に在籍する学生及び生徒に、一年間にわたり奨学生一人月額2万円計24万円が給付され、学納金として充当されるものです。

今年で5回目の開催となる授与式には、野口医学研究所より創設者の浅野嘉久名誉理事をはじめ4名にご列席いただき、奨学生一人ひとりに対して浅野嘉久名誉理事より奨学証書が授与されました。授与式後の会食・歓談では、奨学生より感謝の意が述べられました。



香友会(同窓会)からの寄付

6月25日(日)坂戸キャンパスにて開催された平成29年度香友会ホームカミングデーのランチパーティーにおいて、女子栄養大学香友会山下静江会長より香川明夫理事長に綾栄会募金へのご寄付として100万円が目録贈呈が行われました。香友会の皆さまからのご支援に篤く御礼申し上げます。



香川栄養学園 古本募金を開始いたしました。

皆さまの読み終わった本が学生・生徒の生活充実支援のために教育・研究環境の整備などに役立てられます。ご不要となった本やCD・DVDをご提供ください。その買取価格が全額、香川栄養学園への寄付となり、学生・生徒の生活充実支援に役立てられる取組みです。

香川栄養学園 古本募金

検索

(提携会社) (株)バリューブックス
フリーダイヤル 0120-826-292

古本募金の2017年4月~9月までの受付分は、99件(10,031冊)で寄付金額は196,146円となりました。お申込みを頂きました皆さまに御礼申し上げます。

ご寄付者一覧

第50回報告

平成29年4月～29年9月末日お申し込み分

ご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載しております
(五十音順、敬称は省略させていただきました)。
ご支援を賜りありがとうございます。御礼申し上げます。

- 2回以上ご寄付をいただいた個人・法人のご芳名も1回の掲載とさせていただきます。
- 住所・氏名など変更がありましたら、お手数ですが綾栄会事務局 (TEL03-3918-3701 E-mail:bokin@eiyo.ac.jp) までご連絡をお願いいたします。
また、綾栄会に関するご希望、ご意見も遠慮なくお寄せください。

個人

卒業生 篤志家 学園教職員

相原 晶子
青木 章子
秋村 芳子
秋山 嶺代
安達 律子
足立 望
池内 和恵
石田 憲治
石原 雅義
石山 三貴男
磯崎 昭伸
板谷 幸恵
一松 倫子
井手 政司
出井 玲子
稲葉 和子
稲葉 三起夫
井口 君子
伊吹 憲昭
井元 りえ
岩間 範子
上原 美智子
内野 美保
遠藤 伸子
遠藤 秀子
遠藤 仁美
遠藤 徳夫
及川 由紀子
大木 充
大河内 教好
大島 美登里
太田 由恵
大谷 文子
大沼 久美子
大沼 由美子
小川 久恵
小川 三保子
沖井 澄子
萩原 英子

奥嶋 研司
奥嶋 佐知子
奥堂 雅之
小野 仁子
小見 佐和子
香川 明夫
香川 靖雄
加藤 宏幸
金澤 久美子
金谷 滋子
金田 雅代
亀田 紘子
川内 唯之
川西 友紀
川端 輝江
菊地 千枝子
北原 寛子
木下 峻介
木村 みさ子
久保田 徳子
熊沢 孝仁
慶田 美佐子
小久保 和代
小林 芳子
小松 孝正
五明 紀春
小森 明
佐伯 文子
佐川 愛子
崎川 康子
佐々木 平紀
佐々木 浩二
佐々木 嘉恵
佐藤 智英
塩田 弘子
自覚 真由美
重松 淳一
志田 佐代子
渋谷 まさと
島村 幸代
清水 加奈子
清水 豊
女子栄養大学香友会
菅原 久美子

杉浦 弘子
杉山 勝行
杉山 成二
鈴木 千恵子
鈴木 直人
鈴木 久乃
関 純子
染谷 忠彦
高城 孝助
竹内 恭子
伊達 静子
立野 恵美子
田中 みどり
田中 久子
田中 美和子
田畑 陽子
多部田 さつき
土屋 純一
堤 久子
富井 秀子
富永 暁子
富野 博樹
友本 則子
内藤 高子
中津井 祐一
中屋 祐子
新井田 弘
仁田 玲子
根岸 由紀子
野口 郁乃
箱山 良治
橋詰 廣通
橋本 幸治
橋本 英明
長谷川 満
羽鳥 千尋
林 修
原口 英男
廣末 トシ子
深田 美彌子
吹春 秀典
福田 恵美子
福田 加代子
古川 瑞雄

古海 大輔
古谷 吉代子
逸見 幾代
細川 聖子
堀 純子
堀江 修一
牧野 直子
松尾 節子
松尾 鉄城
松本 伸子
松本 文夫
三浦 サク
三浦 晴美
三浦 理代
道上 裕之
宮下 聡子
向井 邦江
村上 陽子
村田 ナホ
森 さやか
安嶋 則子
矢野 大介
山口 範雄
山田 恵子
横山 紗桜理
與座 祥子
吉岡 久
吉川 僚一
渡部 修司
渡邊 美紀

保護者 在校生

麻生 智子
足立 祥子
新井 淳子
飯沼 久裕
井汲 達也
石川 雅英
宇田川 和彦
大橋 清喜
大森 祥司
岡田 壽仁

長田 直樹
小高 泰朗
川島 一利
君島 智子
桑名 信至
後藤 伸二
佐々木 勇一
佐野 奈奈
柴 強
柴野 直樹
白戸 悠莉
杉原 悦子
鈴木 清晃
先崎 安克
竹内 克哉
垂石 英克
塚本 洋一
恒川 正之
中田 敬介
新田 和枝
橋本 晴恵
藤本 幸彦
保坂 恭子
星山 良一
松井 克行
松丸 博之
松山 晶子
宮城 章
宮田 保彦
村山 泰治
森田 精二
柳沼 正典
安田 一裕
山崎 憲一
山中 沙紀
渡邊 公彦
渡邊 正美
渡邊 美津穂
渡邊 裕子

匿名 116名

法人

有限会社 RMステーション
株式会社 アイト
あみ印食品工業株式会社
公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団
株式会社 栄美通信
エスピー食品株式会社
オーエリックス株式会社
有限会社 大場電気管理事務所
株式会社 オーバル・アドバタイジング
香川県農業協同組合
株式会社 学士会館精養軒
株式会社 南国酒家

株式会社 銀しゃり
株式会社 銚谷書店
恵雅堂出版株式会社
埼玉縣信用金庫
株式会社 埼玉種畜牧場
有限会社 狭山グリーンサービス
生活協同組合バルシステム埼玉
第一生命保険株式会社
株式会社 田村屋
株式会社 ダンアート
東京サラヤ株式会社
株式会社 東北食糧

中沢乳業株式会社
株式会社 日本ドリコム
ハウスウェルネスフーズ株式会社
榛名商事
武州瓦斯株式会社
米国財団法人 野口医学研究所
株式会社 バルク
瑞穂印刷株式会社
株式会社 三井
株式会社 みづほ
株式会社 ユース
株式会社 ライセンスアカデミー

香川栄養学園 教育・研究促進事業

《募金報告》		個人		法人		合計	
		金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数
	今回50号報告分 平成29年4月～9月	11,409,431円	338件	7,076,562円	37件	18,485,993円	375件
	古本募金 平成29年4月～9月受付分	196,146円	99件 (10,031冊)				